

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月24日

都道府県知事  
(市長) 大分県知事 殿



大分県竹田市荻町北原5020番地  
株式会社ユキ牧場  
代表取締役 菅 敏昭

提出者  
住所  
氏名  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0974-68-2732

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ユキ牧場
事業場の所在地	大分県竹田市荻町北原5020番地
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 2,500頭
③従業員数	8人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	豚ふん: 処理業者委託(堆肥化) 豚の尿: 水処理して放流 豚の死体: 処理業者委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

事業者が下記事項を行う(廃棄物統括責任者兼担当者)

- ・廃棄物の処理方針の決定
- ・廃棄物処理に関する各種事項の決定承認
- ・廃棄物処理計画の作成
- ・委託契約の締結事務
- ・産業廃棄物管理票交付の管理
- ・行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (R3. 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排出量	4,676 t	4 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	4,700 t	4 <del>5</del> t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 ( R 3                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,000 t	t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3,000 t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 ( 3 ) 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
		該当なし
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
		該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 ( R 3 ) 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	1,676 t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,676 t	4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
動物のふん 処理業者委託 (堆肥化) 動物の死体 化糞業者委託			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	1,600 t	4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,600 t	4 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			
※事務処理欄			